

2018年度 事業報告書

特定非営利活動法人 CFF ジャパン

1 事業の成果

【青年育成事業】

（1）海外ボランティアプログラムの質の向上ならびにプログラムディレクター養成

2018年度は4年ぶりに開催したマレーシアファミリーキャンプを含め、フィリピン・マレーシア・ミャンマーにて計19回の海外ボランティアプログラムを実施。のべ369名の参加者を現地に派遣し、18名の青年リーダーを育成しました。リーダー育成においては、CFFのミッションとリーダーのビジョンの関係性を明確にし、そのためのワークショップを実施するなど、半年間のリーダー育成の強化を図りました。

2018年度に採用した2名の職員のプログラムディレクター養成においては、OJTの他に渡航前後にディレクターミーティングを実施し、実働上での迷いや対処法などをディレクター同士で議論。ディレクター養成と同時に、現地プログラムの質の向上を目指しました。

（2）プログラム参加後の活動実践の場作り

社会に向けて自ら行動できる青年育成を目指した国内プログラム「Social Action Challenge(SAC)」を開始。CFFの海外プログラムに参加した学生が国内のフィールドで活動し、活動先へ貢献するとともにチームとして課題解決に取り組み、そのプロセスを通じて社会に向けて自ら行動できる人の育成を目指しています。年2回6ヶ月のプログラムで、計15名の青年が4フィールドにて活動し「小さくとも社会課題に取り組む実践の場の提供」を果たすことができました。

〈派遣先と活動内容〉

- ・児童養護施設における子どもの遊びと学習支援
- ・外国にルーツを持つ子どもの学習支援
- ・困難を抱えた子どもたちが安心して過ごせる居場所作り
- ・人や組織をつなぎ地域を盛り上げるNPO

（3）経済的に困難な青年等の海外プログラム参加の体系確立

CFF サポーター寄付を財源に運用を開始した旅行費用補助制度では、児童養護施設在園児や卒業者への補助予定を変更して、プログラム参加希望者の中でも特に経済的な事情により参加が困難な青年の参加の後押しを目的に補助することとしました。今年度からは新たに収入基準額を設け、基準を満たす方に対して一人あたり5万円の補助を実施し、プログラム参加の後押しをすることができました。（2018年度旅行費用補助制度利用者数：8名）

（4）学校との協働型事業に向けた青年育成プログラムの構築

2013年より5年間、文科省スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定校の順天高校との協働において、フィリピンフィールドワークのコーディネートを担当。事前準備や調査、事後の探求や発信などを通じて生徒に伴走する中で、特に下記3点において生徒たちの変化や学びの成果を感じることができました。

●社会課題に対する主体性

現地課題に触れ、調査や活動内容を日々改善していく中で、帰国後や卒業後にも継続して海外で活動続ける生徒が現れた。

●多角的視点と思考

複雑な課題や現地の人々が直面している困難と向き合うことで、当事者目線で物事を考えたり、異なる視点から事象を捉える柔軟性と思考力が備わってきた。

●成果のアウトプット

フィリピン食材を使用した健康増進のための商品開発や性教育絵本作りなど、現地調査結果を経て日本でも実践できることを形にし、具体的なアウトプットを果たすことができた。

今後はこの5年間で培ってきた育成プログラムを発展させながら、順天高校と CFF ジャパンの自主事業としてプログラムを継続していきます。

【海外子ども支援事業】

(5) CFF ミャンマー運営支援

CFF ジャパン代表並びに事務局長が渡航し、現地理事会に出席。現地自主事業の吟味や選定において、CFF ジャパンとの協働体制を確認するとともに主体性の向上を図りました。また、現地職員に対し、CFF ジャパン代表が毎月の業務報告と会計報告のチェックを行い、渡航時にはOJTで育成に当たりました。スタッフトレーニングの一貫として現地職員をCFF マレーシアに派遣するコーディネートを実施し、施設運営や会計業務のトレーニングを行いました。

(6) 各国 CFF との「協働プロジェクト」

CFF サポーター寄付を財源に、各国 CFF と共に実施している「協働プロジェクト」において、2018年度は下記の事業支援を行いました。

- ①フィリピン：入所児童のスキルトレーニングとスタッフ育成
- ②マレーシア：子ども福祉部門オフィスの新設と入所児童・児童指導員への IT トレーニング
- ③ミャンマー：スラムに住む子どもたちに向けた裁縫プロジェクト、CFF ミャンマー運営支援

【その他】

(7) プログラム参加者から CFF サポーターになる流れの確立

CFF ジャパンの財政基盤強化、また CFF のファンで居続けてくれる仕組み・CFF の事業に参画している意識を持ってもらうための方策を検討。インターン生による CFF サポーターに特化した HP の作成と運用、申し込み手続きの簡略化、メールマガジンの充実等を図った結果、目標人数を4名上回る39名（内学生25名）が新規サポーターとなり、プログラム参加からサポーターになる流れが確立してきました。

(8) 多様な層（教育機関、支援者、保護者等）への情報発信の強化

新 web サイトを新設し、職員による日常的な更新や運用がなされることを目標としていましたが、今年度はサイトの編集作業までとなりました。来年度は上記の目標に加え、保護者や関心を持っている教育関係者も含めて必要な人が必要な情報をとれる状態にすることを目指します。

(9) 新拠点開設に向けた調査（地域と学生との協働による新規活動の模索、働く環境改善）

空き家マッチング事業への相談、物件調査を経て移転候補地の目安が付き、希望地域内での物件情報収集と見学をしています。日本における「子どもと青年の育ち合い」の実践 やプログラム参加後の活動の場作りなどの可能性を踏まえ、引き続き新拠点開設の実現を目指します。

(10) 収益基盤強化に関する次の取り組みの検討

春のミャンマープログラムを1プログラム増やし、CFF ミャンマーとの協働も強化していくことを検討しています。また、長期目標として、高校との協働事業で海外フィールドワークを担当し、高校における「探求の時間」を利用し、学校と海外フィールドをつなぐ役割を模索しています。

(11) 危機管理体制の強化

NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS) 主催の「安全管理者向け研修」「現地派遣者向け研修」に、危機管理室担当職員・担当理事計3名が参加。交通事故、感染症、自然災害等多岐の事象に渡る危機管理・安全管理計画のポイントを学び、危機管理体制の見直しと強化を図りました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【43,710】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)	
①-a 海外での開発教育等を活用した青年育成事業	フィリピンワークキャンプ	8-9月 (3回)	フィリピン	2名	日本人+ 現地人	108名	38,765	
		2-3月 (2回)						
		3月 (1回)						
	フィリピンスタディツアー	9月 (1回)		1名	日本人+ 現地人	19名		
	マレーシアワークキャンプ	9月 (1回)		マレーシア	2名	日本人		38名
		3月 (1回)						
8-9月 (3回)								
マレーシアスタディツアー	2-3月 (3回)	マレーシア	2名	日本人+ 現地人	106名			
	9月 (1回)							
	3月 (1回)							

	ミャンマースタディツアー	9月 (1回)		1名	日本人	23名	
	ミャンマーワークキャンプ	3月 (1回)	ミャンマー	3名	日本人+ 現地人	25名	
	インターンの育成 (海外)	8-9月 2-3月	フィリピン マレーシア	3名	日本人	日本人 3名	
①-b 海外での開発教育等を活用した青年育成事業-教育機関との協働事業	順天高校協働事業	通年	フィリピン	3名	日本人	80名	
②「子どもの家」支援等を通じた国際協力事業	フィリピン「子どもの家」支援	通年	フィリピン	3名	入所児童+周辺 地域	18名	4,925
	マレーシア「子どもの家」支援	通年	マレーシア	3名	入所児童	14名	
	CFF ミャンマー支援	通年	ミャンマー	3名	地域の 児童	5名	
③国内での国際協力・青年育成等の啓発・推進事業	プログラムリーダーの育成 と研修実施の支援	通年	都内周辺	2名	プログラム リーダー	17名	18
	インターンの育成(国内)	通年	CFF ジャ パン事務 局	3名	インターン2 名	2名	
	ボランティアプログラム参加者向け啓発イベント(事後研修2日目)の開催支援	5月 11月 (2回)	静岡県御 殿場市 茨城県境 町	1名	ボランティ アプログラ ム参加者	350名	
	Social Action Challenge プログラム	4月-7月 10月-1月 (2回)	都内周辺	3名	ボランティ アプログラ ム過去参加 者	34名	
	イベントへの出展・活動紹介の支援	2回	都内周辺 および関 西	4名	不特定多数	多数	

(2) その他の事業：特になし

活動計算書

2018年 5月 1日 ~ 2019年 4月 30日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	140,000	
活動・支援会員受取会費	0	140,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	4,612,621	4,612,621
3. 受取助成金等		
受取助成金	0	0
4. 事業収益		
事業収益	43,183,681	43,183,681
5. その他収益		
受取利息	239	
雑収益	76,600	76,839
経常収益計		48,013,141
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	4,499,960	
給料手当	10,730,432	
法定福利費	1,872,343	
福利厚生費	45,186	
人件費計	17,147,921	
(2) その他経費		
業務委託費	1,005,883	
現地プログラム費	13,854,100	
諸謝金	40,000	
印刷製本費	507,727	
会場費	269,396	
会議費	97,124	
旅費交通費	3,481,440	
通信運搬費	750,479	
消耗品費	332,627	
備品費	169,913	
水道光熱費	172,799	
地代家賃	1,184,436	
広告宣伝費	92,947	
新聞図書費	4,700	
保険料	313,905	
諸会費	49,850	
リース料	98,201	
研修費	108,250	
支払手数料	506,976	
支払助成金	2,320,000	
支払寄付金	1,190,380	
為替差損	733	
雑費	10,511	
その他経費計	26,562,377	
事業費計		43,710,298
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	13,540	
給料手当	32,288	
法定福利費	5,634	
福利厚生費	48,570	
人件費計	100,032	
(2) その他経費		

印刷製本費	474		
会場費	2,020		
会議費	36,682		
旅費交通費	4,006		
通信運搬費	3,522		
消耗品費	3,870		
備品費	511		
水道光熱費	520		
地代家賃	3,564		
広告宣伝費	89		
減価償却費	38,499		
保険料	75		
諸会費	150		
リース料	295		
研修費	12,800		
業務委託費	126,375		
支払手数料	164,605		
雑費	35		
その他経費計	398,092		
管理費計		498,124	
経常費用計			44,208,422
税引前当期正味財産増減額			3,804,719
法人税等			553,800
当期正味財産増減額			3,250,919
前期繰越正味財産額			24,663,594
次期繰越正味財産額			27,914,513

貸借対照表

2019年 4月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	28,835,018	
未収金	186,500	
立替金	523,670	
流動資産合計		29,545,188
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	38,500	
有形固定資産計	38,500	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
敷金	168,000	
投資その他の資産計	168,000	
固定資産合計		206,500
資産合計		29,751,688
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	740,267	
預り金	543,108	
未払法人税等	553,800	
流動負債合計		1,837,175
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		1,837,175
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		24,663,594
当期正味財産増減額		3,250,919
正味財産合計		27,914,513
負債及び正味財産合計		29,751,688

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	ワークキャンプ 青年育成事業	海外子ども支援	国内青年 自主活動	その他 啓発講演	合計
(1) 人件費					
役員報酬	4,260,744	239,216	0	0	4,499,960
給料手当	10,160,008	570,424	0	0	10,730,432
法定福利費	1,772,810	99,533	0	0	1,872,343
福利厚生費	42,784	2,402	0	0	45,186
人件費計	16,236,346	911,575	0	0	17,147,921
(2) その他経費					
業務委託費	999,244	6,639	0	0	1,005,883
現地プログラム費	13,854,100	0	0	0	13,854,100
諸謝金	40,000	0	0	0	40,000
印刷製本費	499,344	8,383	0	0	507,727
会場費	253,946	850	14,600	0	269,396
会議費	97,124	0	0	0	97,124
旅費交通費	2,979,689	501,361	0	390	3,481,440
通信運搬費	708,861	41,618	0	0	750,479
消耗品費	309,926	18,529	4,172	0	332,627
備品費	160,881	9,032	0	0	169,913
水道光熱費	163,613	9,186	0	0	172,799
地代家賃	1,121,472	62,964	0	0	1,184,436
広告宣伝費	80,033	12,914	0	0	92,947
新聞図書費	4,700	0	0	0	4,700
保険料	312,580	1,325	0	0	313,905
諸会費	47,200	2,650	0	0	49,850
リース料	92,981	5,220	0	0	98,201
研修費	108,250	0	0	0	108,250
支払手数料	284,367	222,501	108	0	506,976
支払助成金	400,000	1,920,000	0	0	2,320,000
支払寄付金	0	1,190,380	0	0	1,190,380
為替差損	733	0	0	0	733
雑費	9,952	559	0	0	10,511
その他経費計	22,528,996	4,014,111	18,880	390	26,562,377
合計	38,765,342	4,925,686	18,880	390	43,710,298

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は(27,914,513)円ですが、そのうち(547,403)円は海外子ども支援事業の直接経費として使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は(27,367,110)円です。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
マレーシアへの寄付	572,561	749,903	775,061	547,403	マレーシア支援事業用資金
フィリピン "	319,009	0	319,009	0	フィリピン "
ミャンマー "	317,400	0	317,400	0	ミャンマー "
合 計	1,208,970	749,903	1,411,470	547,403	

4. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
ノートパソコン	160,693			160,693	△ 122,193	38,500
合 計	160,693	0	0	160,693	△ 122,193	38,500

法人名: NPO法人 CFFジャパン

財産目録

2019年 4月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手許現金	5,712	
朝日信用金庫	19,057,492	
三菱東京UFJ	2,348,873	
ゆうちょ銀行	1,422,432	
定期預金	6,000,509	
未収金		
受取寄附金	186,500	
立替金		
2019春事後研修時バス代	518,400	
合同説明会チラシ	5,270	
流動資産合計		29,545,188
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品		
ノートパソコン	38,500	
(2) 無形固定資産		0
(3) 投資その他の資産		
敷金		
ラインビル	168,000	
固定資産合計		206,500
資産合計		29,751,688
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
キャンプ追加費用	503,084	
社会保険料	209,468	
ロボットペイメント 手数料	11,019	
オフィス24 3月分インターネット料金	8,800	
ASKUL清和ビジネス 消耗品	4,659	
佐川急便 他2件	3,237	
預り金		
社会保険料	321,103	
源泉所得税	112,102	
医療通訳費	109,903	
未払法人税等	553,800	
流動負債合計		1,837,175
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		1,837,175
正味財産		27,914,513

2018年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人 CFFジャパン

1 確認事項 (法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)
 各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役名	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	理事	アオキ テツオ	[REDACTED]	2018年 5月 1日	年 月 日
		青木 哲生		2019年 4月 30日	年 月 日
2	理事	アベ ミツヒコ		2018年 5月 1日	2018年 5月 1日
		安部 光彦		2019年 4月 30日	2019年 4月 30日
3	理事	アラキ トモヤ		2018年 5月 1日	年 月 日
		荒木 智哉		2019年 4月 30日	年 月 日
4	理事	イシイ タケシ		2018年 5月 1日	年 月 日
		石井 丈士		2019年 4月 30日	年 月 日
5	理事	イワタ ユキノ		2018年 5月 1日	年 月 日
		岩田 雪乃		2019年 4月 30日	年 月 日
6	理事	カワサキ オサム	2018年 5月 1日	2018年 5月 1日	
		川崎 修	2019年 4月 30日	2019年 4月 30日	
7	理事	サノ ケイコ	2018年 5月 1日	年 月 日	
		佐野 恵子	2019年 4月 30日	年 月 日	
8	理事	タカジョウヨシユキ	2018年 5月 1日	年 月 日	
		高城 芳之	2019年 4月 30日	年 月 日	
9	理事	マイハラ フミコ	2018年 5月 1日	年 月 日	
		舞原 富美子	2019年 4月 30日	年 月 日	
10	理事	モリノ カズアキ	2018年 5月 1日	年 月 日	
		森野 和彬	2019年 4月 30日	年 月 日	

11	理事	ワタナベマサユキ	[REDACTED]	2018年 5月 1日	
		渡邊 正幸		2019年 4月 30日	
12	監事	アイチ ナオユキ		2018年 5月 1日	
		愛智 直行		2019年 4月 30日	
13	監事	ヨシノ テルオ		2018年 5月 1日	
		吉野 輝雄		2019年 4月 30日	

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 CFFジャパン

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	青木 哲生	
2	安部 光彦	
3	荒木 智哉	
4	石井 丈士	
5	岩田 雪乃	
6	川崎 修	
7	佐野 恵子	
8	高城 芳之	
9	舞原 富美子	
10	森野 和彬	
11	渡邊 正幸	
12	愛智 直行	
13	吉野 輝雄	